

市況等に関する月例報告書（平成27年8月分）

部 門	市況の概要
<p>(青果部の動向) 全 般</p>	<p>8月の総入荷量は、7月から8月にかけて高温や長雨等の天候不良や雹害、台風等の影響により、正品率の低下、小玉傾向となった品目が目立った。入荷量は前年同月比、野菜で微増、果物で減となったが、全体としては概ね前年同月並みとなった。単価は安値だった前年同月比で7%上回った。</p>
<p>(区分別の動向) 野 菜</p>	<p>8月期の野菜の市況は、果菜類は量・品質とも安定した入荷となったが、葉茎菜類や土物根菜類は、台風や雹害による正品率の低下等で入荷が不安定となった品目が目立ち、全体的な品薄感が高まったことから全体として高値基調で推移し、入荷量は前年同月並み、単価は前年同月を5%上回った。</p> <p>根菜類は、入荷量は前年同月並みとなり、単価は19%上回った。 葉物類は、前年同月比入荷量は7%上回り、単価は前年同月並みとなった。</p> <p>果菜類は、入荷量は前年同月並みとなり、単価はトマト以外の品目の品薄感から、4%上回った。 土物類は、入荷量は前年同月並みとなり、単価は9%上回った。</p> <p>9月の季節商材としては、栗が出荷のピークを迎える。愛媛、京都、熊本が主な産地で、一部茨城からも入荷し、愛媛と京都だけで9割近くを占める。全般的に作柄良好で、愛媛産は昨年のおよそ3割増しの収穫となる見込み。ただし、熊本産の「利平」（品種名）については、高品質で市場評価も高いが、8月下旬の台風が影響し、例年のおよそ半量となる。</p> <p>また、今年は朝晩の冷え込みが強く毬が割れるのが早く、一週間ほど前進出荷となり、早生品種は8月末からせりを開始している。</p> <p>業務加工用の需要は年間を通じて安定しているが、調理の手間から家庭消費は減少傾向にある模様。また、産地では木の更新が進まず、老園化が進んで廃業する生産者も目立ってきており、市場での取扱量も漸減傾向にある。</p>
<p>果 実</p>	<p>8月期の果実の市況は、春先の天候不良や7月の高温、8月の台風や長雨が影響し、高温障害や着色不良等により正品率が減少し、前年同月比入荷量が8%下回り、単価は22%上回った。</p> <p>柑橘類は、前年同月比入荷量が16%上回り、単価は前年同月並みとなった。</p> <p>リンゴ類は、前年同月比入荷量が28%上回ったが、高単価の貯蔵の青森産リンゴに引っ張られ、単価は4%上回った。</p> <p>桃類は、前年同月比入荷量が24%下回り、単価は12%上回った。 ブドウ類は、前年同月比入荷量が10%下回り、単価は18%上回った。</p> <p>メロン類は、前年同月比入荷量が7%下回り、単価は15%上回った。</p>

スイカ類は、前年同月比入荷量が23%下回り、単価が87%上回った。

9月の季節商材としては、露地物の梨が最盛期を迎える。青梨、赤梨ともに、着花時期の天候不順により前年比9割程度の出荷量となる見込み。とりわけ、徳島は7月の台風被害が響き、幸水等の早生系統を中心に2割程度出荷量が減少した。

出荷時期については、7月の高温により肥大が進み、5日程度の前進出荷となっている。二十世紀は8月最終週から出荷開始し、切り上りも早まる見込みである。

お彼岸やシルバーウィークでの需要が期待されるが、気温低下に伴い価格の下げ足が早まることが予想される。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	北海道，青森を中心に入荷され，入荷量が前年同月並みとなり，引合いが強く価格は17%上回った。
西洋ニンジン	北海道を中心に入荷され，入荷量が前年同月を3%下回り，干ばつの影響で小玉中心の入荷となり，価格は38%上回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長野から入荷され，入荷量が不作だった前年同月を8%上回ったが，価格は6%上回った。
キャベツ	滋賀を中心に，群馬，長野から入荷され，入荷量が前年同月を4%上回ったが，群馬産の雹害による品薄感から，価格は12%上回った。
ホウレンソウ	岐阜を中心に，京都から入荷され，入荷量が前年同月を3%下回り，価格は6%上回った。
レタス	長野を中心に入荷され，入荷量が前年同月を11%上回り，雹害の影響で下等級の入荷が増え，価格は8%下回った。
【果菜類】 キュウリ	京都を中心に福島，愛媛，長野，奈良から入荷され，入荷量が前年同月を22%上回り，価格は28%下回った。
ナス	京都を中心に徳島，岐阜，和歌山から入荷され，他県産の入荷減を京都産が補い，入荷量が前年同月を9%上回り，価格は11%下回った。
トマト	北海道，岐阜を中心に，京都から入荷され，入荷量は前年同月並みとなり，安値となった昨年と比べ価格は6%上回った。
ピーマン	大分，兵庫から入荷され，入荷量は前年同月を13%上回ったが，台風の影響で入荷量が不安定となって引合いが強く，価格は13%上回った。
【土物類】 バレイショ （メーク含む）	北海道，青森から入荷され，入荷量が前年同月を3%下回り，価格は15%上回った。
タマネギ	兵庫を中心に北海道から入荷され，入荷量が前年同月並みとなり，

<p>【その他野菜】 生シイタケ</p>	<p>価格は3%上回った。</p> <p>徳島を中心に広島，岡山，長崎から入荷され，入荷量が前年同月を1.4%下回り，価格は5%上回った。</p>
---------------------------------	---

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	佐賀を中心に長崎，和歌山，大分，福岡から入荷され，入荷量が前年同月を16%上回り，価格は4%下回った。
津軽 （サン含む）	長野，青森から入荷され，入荷量が前年同月を27%上回ったが，高値となった貯蔵の青森産に引っ張られ，価格は4%上回った。
幸水ナン	台風の影響で徳島産の出荷が減ったが，佐賀，長野，富山産が増加し，入荷量は前年同月を12%上回り，盆後の豊水の出荷が少なかったため価格は15%上回った。
桃	山梨を中心に長野，福島，岡山，和歌山，山形等から入荷され，入荷量が前年同月を25%下回り，価格は13%上回った。
デラウェア	山形，山梨から入荷され，長雨と高温の影響で入荷量が前年同月を27%下回り，価格は20%上回った。
アールス	静岡を中心に茨城，高知から入荷され，入荷量が前年同月を31%下回り，価格は36%上回った。
大玉スイカ	長野を中心に石川，山形，秋田，青森から入荷され，入荷量が前年同月を23%下回り，盆明けまで引き合いが強く，価格は87%上回った。